

目次

[はじめに](#)

第1章 キーボードI/F機種セットアップ

[1-1 セットアップ方法](#)

[1-2\(1\) ディップ・スイッチの設定](#)

[1-2\(2\) ディップ・スイッチの設定](#)

[1-3 操作方法（初期設定値）](#)

第2章 USB I/F機種セットアップ

[2-1\(1\) セットアップ方法](#)

[2-1\(2\) セットアップ方法](#)

[2-1\(3\) セットアップ方法](#)

[2-2 デリミタキーの設定](#)

第3章 基本事項

[3-1 操作方法](#)

[3-2 設定方法](#)

[3-3 データ転送手順](#)

[3-4 スイッチ機能](#)

[3-5 その他の機能](#)

第4章 バーコードメニュー

[4-1 ヘッダの設定](#)

[4-2\(1\) UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8の設定](#)

[4-2\(2\) UPC-A / UPC-E / EAN-13 / EAN-8の設定](#)

[4-3 CODE39の設定](#)

[4-4 NW-7の設定](#)

[4-5 2 of 5 Standardコードの設定](#)

[4-6 2 of 5 Interleaved コードの設定](#)

[4-7 CODE93の設定](#)

[4-8 CODE128の設定](#)

[4-9\(1\). スイッチの設定](#)

[4-9\(2\). スイッチの設定](#)

[4-10\(1\). その他の設定](#)

[4-10\(2\). その他の設定](#)

[4-11 設定データ](#)

第5章 仕様

[5-1 BARScan仕様](#)

[5-2 寸法図](#)

[トップへ](#)

はじめに

この度は、『BARS^{can}』をご購入いただき、誠に有難うございます。

『BARS^{can}』は、パソコンのキーボード又は、USBコネクタに接続するだけで読取ったバーコードをキー入力します。

『BARScan』には、キーボードインターフェイス対応のPC98用、DOS/V用、MAC用とUSB用の4種類のインターフェイスがございます。

本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。

また、本製品に関するお問い合わせは、弊社お客様相談室（045-322-4400）までお願い致します。

本マニュアルは、キーボードインターフェイス機種とUSBインターフェイス機種を説明しております。ご購入頂いた機種をご確認の上該当する部分をお読みになって下さい。

目次

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

第1章 キーボードI/F機種セットアップ

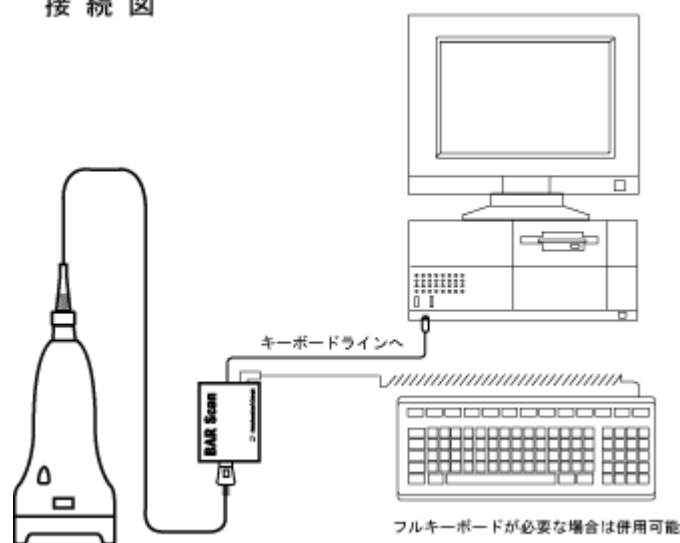
1-1 セットアップ方法

- 1) スキャナをコンバーターボックスに接続します。
- 2) コンバーターボックスからのケーブルをパソコンのキーボードラインに接続します。
- 3) 必要であれば、フルキーボードをコンバーターボックスに接続することにより利用可能です。

※上記の作業は、パソコンの電源が入っていない状態で行って下さい。

以上で接続は完了です。これでパソコンの電源を投入すれば、BAR Scanで読み取ったバーコードデータがキー入力されます。

接続図



※MacintoshはADBポートへ接続して下さい。

※DOS/V機の場合、機種によってコネクタの形状が異なりますのでご注意ください。

別売にてDIN 5P-Mini DIN 6P変換コネクタをご用意しております。

型番：PS-CON 標準価格：4,800円（税別）

[目次](#) [1-1](#) [1-2 \(1\)](#) [1-2 \(2\)](#) [1-3](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

1-2 ディップ・スイッチの設定

1) コンバーターボックス裏面にディップ・スイッチが設けられており、各種の設定が可能です。

設定内容及び初期値は下表の通りです。

SW番号	概要	状態	内容
1	接続機器種別	* ON	標準品のスキャナ (BAR Scan)
		OFF	他のRS 232C機器
2	デリミタ出力	* ON	DIP SW 3番で指定されたコードを読み取りコードの末尾に付加する
		OFF	デリミタ (確定) コードを付加しない
3	デリミタコード	* ON	末尾のCRを付加する
		OFF	末尾のTABを付加する
4 / 5	キー送出間隔	SW 4 / SW 5	
		* ON / ON	高速
		OFF / ON	標準
		ON / OFF	低速
		OFF / OFF	超低速
6	フルキーボード接続 (DOS/V機のみ対応)	* ON	フルキーボードを接続する
		OFF	フルキーボードを接続しない (ノートタイプ等)
7	予備	* ON	
8	走査コード選択 (DOS/V機のみ対応)	* ON	セット2 ※通常のDOS/V機はセット2でご利用いただけます。
		OFF	セット1

* : 初期設定値

DIP SW 1番で標準品のスキャナが指定された場合は、DIP SW 6～7番は予備 (無効) となります。通信速度は、2400BPS / 7BIT / 偶数パリティ / ストップ2ビットとなります。

DIP SW 4 / 5は、パソコン側がデータを取りこぼす (データの一部が抜ける) 場合に利用し正常に出力されるまで速度を落として下さい。

ディップ・スイッチ6番は、コンバータ・ボックスへフルキーボードを接続しない運用で、正常に動作しない場合のみ設定して下さい。一部のDOS/V機種では正常に動作しない場合があります。

PC 98をWindows環境下でご利用のお客様で、PC BAR Scanからのバーコードデータが正しく読み取れない場合は、DIP SW 8番をOFFにして、フルキーボードの「CAPS」及び「カナ」キーを解除してお使い下さい。

第1章 [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

2) DIP SW 1 番をOFFに設定した場合、他のRS232C機器を接続して利用することができます。各種設定は下表の通りです。

SW番号	概要	状態	内容
1	接続機器種別	OFF	他のRS232C機器
2/3	通信速度	SW2 / SW3	
		OFF / OFF	1200BPS
		OFF / ON	2400BPS
		ON / OFF	4800BPS
		ON / ON	9600BPS
4	ビット指定	OFF	7ビット
		ON	8ビット
5	パリティ指定	OFF	パリティ無
		ON	パリティ有
6	パリティ指定 (設定値)	OFF	偶数パリティ
		ON	奇数パリティ
7	ストップビット指定	OFF	1ビット
		ON	2ビット
8	キー送出間隔	OFF	低速
		ON	標準

この機能を利用して、他のRS232C機器をご使用になるお客様は、DIN 8Pコネクタの内容（ピンアサイン）等、弊社お客様相談室までお問い合わせ下さい。

[目次](#) [1-1](#) [1-2 \(1\)](#) [1-2 \(2\)](#) [1-3](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

1-3 操作方法（初期設定値）

1) 読み取りヘッドを持ちバーコードラベルに近づけます。
この時の操作要領は

- ・読み取りヘッドの読み取り窓の中心と、バーコードラベルの中心を合わせるようにします。
- ・読み取り窓ごしにバーコードラベルが見えるようにバーコードラベルに近づけます。
- ・読み取りヘッドをバーコードラベルの高さ方向に上から下へゆっくりと移動させるように操作すると読み取り易い場合もあります。

2) バーコードラベルを読み取るとブザーが1回鳴ります。
（設定により無音にすることも可能です）

3) 同じバーコードラベル又は同じキャラクタのバーコードラベルをもう一度読み取る場合は、一度読み取りヘッドをバーコードラベルから離して再度バーコードラベルに近づけて読み取らせてます。
この操作をくり返して下さい。

4) 色地ラベル、印刷状態の悪いラベルの場合、読み取りにくいことがあります。
この場合はバーコードリーダーの後部を持ち上げて読み取らせて下さい。

<注意事項>

1) 読み取りヘッドには光学部品を内蔵していますので落としたり、ぶつけたりしないで下さい。
故障の原因となります。

2) 直接日光の当たるところや、暖房器具のそばでの使用は避けて下さい。
故障の原因となります。

3) 次のようなバーコードラベルは読み取れない場合があります。

- ・水滴や霜が表面についているラベル。
- ・よごれ、かすれ、にじみのあるラベル。
- ・読み取り窓より大きいラベル。
- ・バーの色が赤や黄色のラベル。

4) バーコードリーダーの窓を清潔にして下さい。

- ・乾いたやわらかい布でからぶきして下さい。
- ・シンナー、ベンジン等の揮発性のものは、絶対に使用しないで下さい。
また、水洗いも絶対におやめ下さい。

[目次](#) [1-1](#) [1-2 \(1\)](#) [1-2 \(2\)](#) [2-1 \(3\)](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

第2章 USB I/F機種セットアップ

2-1 セットアップ方法

本章ではUSBインターフェイスを搭載したPC / AT互換 (DOS/V)機
Windows98

インストールモデルをベースにしたセットアップ方法を説明しています。
このマニュアルに記載のイラストや画面は実際とは多少異なることがあります。

●動作環境

対象機種 USBインターフェイスを搭載したPC / AT互換 (DOS/V) 機
対象OS Microsoft Windows98

※上記対象機種には、NEC PC98-NXシリーズを含みます。

※ NEC PC98-NXシリーズ Windows95(OSR2.1)プレインストールモデルを
ご利用の場合は、別途専用ドライバソフトが必要となります。

ドライバソフトはインターネットのホームページより入手できます。

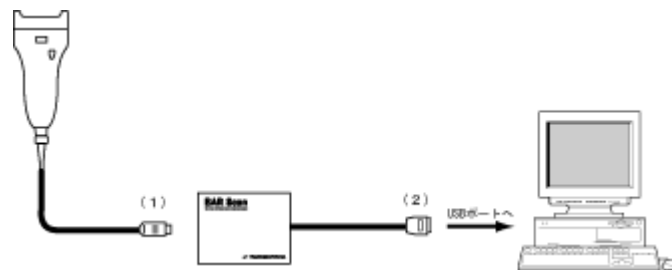
下記URLよりダウンロードしてください。

ホームページアドレス：<http://www.technical.jp/>

1) バーコードリーダのコネクタ (1) をコンバーターボックスのバーコード
リーダ端子

に接続します。

2) パソコン本体の電源がOFFの状態にてコンバーターボックスからの
USBコネクタ (2) をパソコンのUSBポートに接続します。



3) パソコンの電源を入れます。デバイスドライバーウィザードが表示され
ます。

4) 本製品に添付の『ドライバディスク』をパソコン本体のフロッピーディ
スクドライブ
にセットして下さい。

目次 [2-1 \(1\)](#) [2-1 \(2\)](#) [2-1 \(3\)](#) [2-2](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)



「次へ>」ボタンをクリックします。



「次へ>」ボタンをクリックします。



「次へ>」ボタンをクリックします。



「完了」ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

これでバーコードリーダーより読取ったバーコードデータがキー入力されま
す。
フルキーボードの『CAPS』及び『カナ』キーは、解除してご利用ください。

<注意事項>

・ドライバインストール中に誤ってキャンセルなどをし、インストールを中
断した場合には、前記の1) からインストールをやり直してください。

・ドライバを正常にインストールしないで、デバイスドライバウィザードを
完了した場合には、『コントロールパネル』の中から『システム』選択
し、『デバイスマネージャ』タブをクリックして『不明なデバイス』を削
除した後、前記の1) からインストールをやり直してください。

・パソコンの省電力機能は使用しないでください。省電力機能の設定はパ
ソコンに付属のBIOSセットアップユーティリティの『省電力』の『パワ
ーマネジメント』を『使用しない』に設定して下さい。
詳細はご利用のパソコンの活用ガイド等を参照してください。

・『コントロールパネル』の中の『システム』を選択し『デバイスマネ
ージャ』タブをクリックし、『このハードウェア環境で使用不可にする』の
チェックボックスは、チェックしないでください。

※初期設定のままにご利用ください。

・USBコネクタは奥まで確実に接続してください。正しく接続されていない場
合正常に動作しません。

・本製品がパソコンに認識されるためには数秒～10秒程度必要です。認識
されるまでにUSBコネクタを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返した
りしないでください。

・ホットプラグ（パソコンの電源を投入した状態でのUSB機器の抜き差
し）を行うと、まれにデバイスが認識されない又は、パソコンがハングアッ
プする場合があります。ホットプラグを行わない事を推奨します。

・コンバーターボックスに電源が入っている状態で、バーコードリーダーコネ
クタの抜き差しは、行わないで下さい。

[目次](#) [2-1 \(1\)](#) [2-1 \(2\)](#) [2-1 \(3\)](#) [2-2](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

2-2 デリミタキーの設定（USB Barscanをご利用の場合）

『USB BARS c a n』で出力したバーコードデータの最後に付加するキー（デリミタキー）を変更したい場合、添付のUSB BARScan のソフトウェアを利用します。デリミタキーの初期設定は、『Enterキー』に設定されています。『Enterキー』をデリミタキーとして利用の場合は、設定の必要はありません。『TABキー』や『デリミタキーを付加しない』等、デリミタキーを変更したい場合は、本ソフトウェアにて設定します。

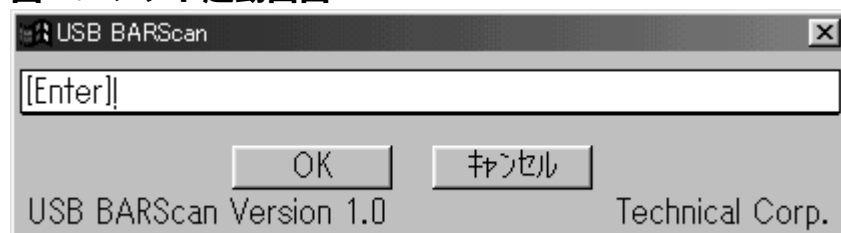
1) USB BARS c a nの起動

本製品に添付の『ドライバディスク』をパソコンのフロッピードライブにセットし、『ドライバディスク』の中にあるUSB BARScanアイコンをクリックし、設定ウインドウを表示します。

『Back space』でウインドウに表示されている、初期設定の『Enter』コードを削除し、フルキーボードからデリミタキーに設定したいキーを入力します。設定ウインドウに、フルキーボードから入力したデリミタキーが表示されます。OKをクリックして設定完了です。

デリミタキーを付加しない場合は、ウインドウに表示されているデリミタコードを『Back space』で削除して、OKをクリックしてください。デリミタ設定可能キーコードは、Enter、Tab、→、←、↑、↓、A～Z、a～z、0～9、／、＊、＋、－、Spaceです。

図1. ソフト起動画面



<注意事項>

本ソフトウェアは、パソコンへUSB BARScan添付の『デバイスドライバ』をセットアップ後に利用が可能です。

[目次](#) [2-1 \(1\)](#) [2-1 \(2\)](#) [2-1 \(3\)](#) [2-2](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

第3章 基本設定

3-1 操作方法（バーコードリーダーの設定方法）

- 1) 左右のトリガスイッチを押したまま電源投入します。
- 2) 下記設定開始ラベルを読ませます。



<注意事項>

5秒以内に設定開始ラベルを読み取らなかった場合、バーコードメニューによる設定モードから抜け出し、以前に設定された内容で通常動作します。また、設定開始ラベルを読み取らせることができる間は、ブザーが連続して鳴ります。

- 3) 各設定に対応したラベルを読ませます。（トリガスイッチON等）
- 4) 下記のラベルを読ませると、機能が初期値になります。
（*印の機能に設定されます）



- 5) 下記の設定終了ラベルを読ませます。



- 6) 設定終了ラベルを読ませると、断続ブザーが鳴り、設定値を書き込みます。その後、設定された内容で通常動作を開始します。

<注意事項>

全データが初期値に設定されますのでご注意ください。

<例：左右のトリガースイッチでバーコードを読む場合>

- ①バーコードリーダーの左右スイッチを押した状態で電源を入れる

- ②バーコードマニュアルの設定開始
MENU START を読む



- ③左右トリガスイッチ有功を読む



④ S Wポータブル・モードを読む



⑤ 設定終了を読む



※ (トリガースイッチを押し設定バーコードを読みます)

設定開始のバーコードを含め4つの読み込みで設定できます。

[目次](#) [3-1](#) [3-2](#) [3-3](#) [3-4](#) [3-5](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

3-2 設定方法

1) 出力データ

バーコードが読み込まれると以下のようなフォーマットにてデータが出力されます。

ID	桁数		バーコードデータ	デリミタコード (CR or TAB)
	n1	n2		

2) ID

バーコード体系を認識するためのキャラクタです。IDの転送の可否を選択できます。UPC-E、EAN-13/8については、IDを下表に示す2つの組み合わせから選択できます。

バーコード体系	ID		バーコード体系	ID
UPC-A	A		2 of 5 Interleaved	I
UPC-E	C	E	NW-7	N
EAN-13	A	F	CODE 39	M
EAN-8	B	FF	CODE 93	L
2 of 5 Standard (5 Bar)	H		CODE 128	K

3) 桁数

バーコードデータの桁数を2桁（2バイト）で示します。但し、UPC/EANコードの場合、桁数は省略されます。桁数の転送の可否を選択できます。

n1 : 10の位 (0-9) n2 : 1の位 (0-9)

4) デリミタコード

コンバータのディップスイッチにて指定されたデリミタコードが末尾に付加されます。

デリミタコードの転送の可否を選択できます。

[目次 3-1](#) [3-2](#) [3-3](#) [3-4](#) [3-5](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

3-3 データ転送手順

1) UPC-A

転送桁数調整用先頭キャラクタ「0」及びチェックデジットC/Dの転送の可否を選択できます。

(「0」はC/Dと合わせてEAN-13と同桁数に調整するための付加キャラクタ)

0 S X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 C/D

S：ナンバーシステムキャラクタ

2) UPC-E

ZEROサプレスフォーマット(読み取りデータをそのまま転送する)とZEROインサートフォーマット(UPCに規定されている「0」を読み取りデータに挿入して転送する)のいずれかを選択できます。

そして、転送桁数調整用先頭キャラクタ「0」及びチェックデジットC/Dの転送の可否も選択できます。(「0」はC/Dと合わせて、EAN-8、EAN-13と同桁数に調整するための付加キャラクタ)

ZEROサプレスフォーマット

0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 C/D

ZEROインサートフォーマット

X6 = 0-2: 0 0 X1 X2 X6 0 0 0 0 X3 X4 X5 C/D

X6 = 0: 0 0 X1 X2 X3 0 0 0 0 0 X4 X5 C/D

X6 = 4: 0 0 X1 X2 X3 X4 0 0 0 0 X5 C/D

X6 = 5-9: 0 0 X1 X2 X3 X4 X5 0 0 0 0 X6 C/D

3) EAN-13

Y1 Y2 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 C/D

Yn：フラグナンバーキャラクタ

4) EAN-8

Y1 Y2 X1 X2 X3 X4 X5 C/D

Yn：フラグナンバーキャラクタ

5) 2 of 5 Interleaved / 2 of 5 Standard

スタートコードの次のキャラクタからストップコードの前のキャラクタまで順に転送します。(スタート、ストップコードは転送しません)

6) NW7(CODABAR)/CODE39

スタートコードとストップコードの転送可否を選択できます。

スタート/ストップコードの転送が許可されている場合、

NW7(CODABAR)の転送スタート/ストップコードは小文字”a/b/c/d”と大文字”A/B/C/D”のいずれかを選択できま

す。CODE39は”*”です。

目次 **3-1** **3-2** **3-3** **3-4** **3-5**

第1章 **第2章** **第3章** **第4章** **第5章**

3-4 スイッチ機能

用途に応じて下記の6種類のトリガスイッチ機能を選択できます。

1) オートオフ・モード

トリガスイッチをONにしてから約5秒間読み取り可能状態となります。正常読み取り完了時、または約5秒間経過した時に自動的に読み取り待機状態になります。

2) モメンタリスイッチ・モード

トリガスイッチをONにしている間のみ読み取り可能状態となり、OFFの間は読み取り待機状態となります。また、トリガスイッチが押されている間は読み取り可能状態が続きます。

3) オルタネートスイッチ・モード

トリガスイッチをONにする毎に読み取り可能状態と読み取り待機状態とを繰り返します。また、トリガスイッチにて読み取り可能状態になっている場合、次にトリガスイッチが押されるまで読み取り可能状態が続きます。

4) リピート・モード

正常に読み取りが完了した後、そのままラベルにバーコードリーダの読み取り窓をあてた状態でトリガスイッチをONにすると、ONした回数分だけ同一データがホストに転送されます。（読み取りは行わず、データのみ転送します。）

5) 連続読み取りモード（オートスタート・モード）

電源投入後、常時読み取り可能状態となります。トリガスイッチ機能はすべて無視されます。

6) SWポータブル・モード

トリガスイッチをONしない限り読み取り動作に移行せず、待機状態になります。待機状態では、低消費電流状態となります。トリガスイッチをONにすると、読み取り可能時間は、読み取りLED点灯時間の設定した時間となります。

[目次](#) [3-1](#) [3-2](#) [3-3](#) [3-4](#) [3-5](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

3-5 その他の機能

1) 2 of 5 Interleaved / Standard のラベルによる桁数設定

この桁数設定は、2 of 5 Interleaved / Standardのみ適用されます。

指定数なしを選択した場合、桁数のチェックは行いません。ただし、最低桁数は2 of 5 Interleavedの場合は4桁以上、2 of 5 Standardの場合は3桁以上になります。指定数1を選択した場合は、1番目に読み取ったラベルの桁数が指定桁数として固定されます。指定数2を選択した場合は、1番目と2番目に読み取ったラベルの桁数が指定桁数として固定されます。

2) ダブルタッチ読み取り

UPC-AおよびEAN-13コードラベルのセンターバーを含んだ右半分または左半分を読み取った後、残りの右半分または左半分を読み取らせることにより読み取り完了させる方法をいい、ラベル半分の読み取りデータが蓄積されている間、断続的にブザーを鳴らします。

3) 表示LED

バーコードリーダ上部に設置してある表示LEDにより”OK”と”NG”の状態を表示する事が可能です。”OK”と”NG”表示の発光色は赤と緑の組み合わせで選択できます。

”OK”表示：読み取りが正常に完了した時点灯します。

”NG”表示：下記の状態の時点灯します。

a) 読み取りエラーが発生した場合

- 読み取り時間制限内に読み取り不可となった場合
(トリガスイッチオフモード時)
- チェックデジットが合わない場合
(チェックデジットが指定されている場合)
- 指定された桁数以外のラベルを読み取らせた場合
(桁数が指定されている場合)
- 読み取り継続中にデータキャンセル操作をした場合
(ダブルタッチの場合)

b) 送信不可

c) ACK/NAKモード時に返答信号がない場合

[目次](#) [3-1](#) [3-2](#) [3-3](#) [3-4](#) [3-5](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

第4章 バーコードメニュー

4-1 ヘッダの設定

桁数の転送 (UPC/EANを除く)

転送許可



*転送禁止



IDキャラクタの転送

転送許可



*転送禁止



*：設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



[目次](#) [4-1](#) [4-2 \(1\)](#) [4-2 \(2\)](#) [4-3](#) [4-4](#) [4-5](#) [4-6](#)

[4-7](#) [4-8](#) [4-9 \(1\)](#) [4-9 \(2\)](#) [4-10 \(1\)](#) [4-10 \(2\)](#) [4-11](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

4-2 UPC-A・UPC-E・EAN-8の設定

UPU-A・UPC-E・EAN-13・EAN-8の読み取り

*読み取り許可



読み取り禁止



UPC-E・EAN-13・EAN-8のIDキャラクター

*C/A/B



E/F/FF



UPC-Aの桁数調整用”0”の転送

*転送許可



転送禁止



UPC-Eの桁数調整用”0”の転送

*転送許可



転送禁止



*：設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



目次 **4-1** **4-2 (1)** **4-2 (2)** **4-3** **4-4** **4-5** **4-6** **4-7**
4-8 **4-9 (1)** **4-9 (2)** **4-10 (1)** **4-10 (2)** **4-11**

第1章 **第2章** **第3章** **第4章** **第5章**

UPC-AのC/Dの転送

***転送許可**



転送禁止



UPC-EのC/Dの転送

転送許可



***転送禁止**



UPC-Eの転送フォーマット

***ZEROサプレスフォーマット**



ZEROインサートフォーマット



***：設定開始・設定終了**

設定開始



設定終了



[目次](#) [4-1](#) [4-2 \(1\)](#) [4-2 \(2\)](#) [4-3](#) [4-4](#) [4-5](#) [4-6](#) [4-7](#)
[4-8](#) [4-9 \(1\)](#) [4-9 \(2\)](#) [4-10 \(1\)](#) [4-10 \(2\)](#) [4-11](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

4 - 3 CODE 39の設定

CODE 39コードの読み取り

*C/Dなしの読み取り許可



C/Dありの読み取り許可



*C/Dキャラクタ転送



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



CODE 39スタート、ストップコードの転送

転送許可



*転送禁止



* : 設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



[目次](#) [4-1](#) [4-2 \(1\)](#) [4-2 \(2\)](#) [4-3](#) [4-4](#) [4-5](#) [4-6](#)
[4-7](#) [4-8](#) [4-9 \(1\)](#) [4-9 \(2\)](#) [4-10 \(1\)](#) [4-11](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

4 - 4 NW - 7の設定

NW - 7コードの読み取り

*C/Dなしの読み取り許可



C/Dありの読み取り許可



*C/Dキャラクタ転送



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



NW - 7スタート、ストップコードの転送

*転送許可



転送禁止



NW - 7のスタート、ストップコード

a/b/c/d



*DC1/DC2/DC3/DC4



*：設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



目次 4-1 4-2 (1) 4-2 (2) 4-3 4-4 4-5

4-6 4-7 4-8 4-9 (1) 4-9 (2) 4-10 (1) 4-10 (2) 4-11

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章

4 - 5 2 o f 5 S t a n d a r dコードの設定

2 o f 5 S t a n d a r dコードの読み取り

***C/Dなしの読み取り許可**



C/Dありの読み取り許可



***C/Dキャラクタ転送**



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



ラベルによる桁数設定

指定数 1



指定数 2



***指定数なし**



***：設定開始・設定終了**

設定開始



設定終了



目次 **4-1** **4-2** (1) **4-2** (2) **4-3** **4-4** **4-5** **4-6**
4-7 **4-8** **4-9** (1) **4-9** (2) **4-10** (1) **4-11**
第1章 **第2章** **第3章** **第4章** **第5章**

4 - 5 2 of 5 Standardコードの設定

2 of 5 Standardコードの読み取り

*C/Dなしの読み取り許可



C/Dありの読み取り許可



*C/Dキャラクタ転送



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



ラベルによる桁数設定

指定数 1



指定数 2



*指定数なし



* : 設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



4-7 4-8 4-9 (1) 4-9 (2) 4-10 (1) 4-10 (2) 4-11

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章

4 - 7 CODE 93の設定

CODE 93コードの読み取り

*C/Dなしの読み取り許可



C/Dありの読み取り許可



*C/Dキャラクタ転送



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



*：設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



[目次](#) [4-1](#) [4-2 \(1\)](#) [4-2 \(2\)](#) [4-3](#) [4-4](#) [4-5](#)

[4-6](#) [4-7](#) [4-8](#) [4-9 \(1\)](#) [4-9 \(2\)](#) [4-10 \(1\)](#) [4-11](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)

4 - 7 CODE 128の設定

CODE 128コードの読み取り

*C/Dなしの読み取り許可



C/Dありの読み取り許可



*C/Dキャラクタ転送



C/Dキャラクタ非転送



読み取り禁止



* : 設定開始・設定終了

設定開始



設定終了



[目次](#) [4-1](#) [4-2 \(1\)](#) [4-2 \(2\)](#) [4-3](#) [4-4](#) [4-5](#)

[4-6](#) [4-7](#) [4-8](#) [4-9 \(1\)](#) [4-9 \(2\)](#) [4-10 \(1\)](#) [4-10 \(2\)](#) [4-11](#)

[第1章](#) [第2章](#) [第3章](#) [第4章](#) [第5章](#)